



桃五だより



No.623

(5月号)

2023.5.1

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>

「やさしさ」と「しあわせ」があふれる桃五小

校長 佐野 篤

4月14日(金)に、芝生校庭で1年生を迎える会を行いました。朝日に照らされて、子供たちがまぶしい程に輝き、ふかふかの芝生の上を跳びはねながら入場してくる1年生の姿に、何とも言い難い「しあわせ」を感じました。そして、子供たちの大きな拍手の中、1年生が桃五小の仲間として、あたたかく迎えられました。この日から1年生は、校庭で元気に走り回ることができます。

今年度は、アフターコロナの元年として、学校行事等を全てコロナ前に戻すのではなく、コロナで得た知見を活かして、継続するものは継続し、さらに変える必要のあるものは変えていくようにしたいと思います。

さて、「やさしさ」と「しあわせ」があふれる桃五小にするために、学校経営の基本方針を三つにまとめました。

基本方針1「全ての子どもたちを全教職員で支援する」

- 複数担任制(教科担任制、学年担任制、交換授業、専科教員等の活用)に積極的に取り組み、全教職員で全児童を支援していきます。
- 全ての教育活動を子供の目線に立って、子供ファーストの教育活動にしていきます。教員が全て決めてしまうのではなく、子供たちと一緒に考え、子供が主体となる教育活動を推進します。
- 「いじめは絶対に許さない」しあわせな生活を脅かすいじめに対して、早期発見、早期解決はもちろんのこと、未然防止に努めます。

基本方針2「学校をオープンにし、多様な風を入れる」

- 青少年赤十字活動をスタートします。学校全体で赤十字について学習したり、青少年赤十字防災教育プログラムを学んだりします。また、「あいさつ運動」「1円玉募金」「古切手回収」「ブックオフ古本回収」「1分間清掃」等を実践します。
- 桃五小に関わりのある人の力を積極的に借りる「オール桃五」体制を構築します。校長の限界を学校の限界にしないようにします。

基本方針3「変化を恐れずに試行錯誤し、協働する」

- 天然芝生校庭を生かした教育活動を推進します。桃五小の校庭芝生が教育活動の中で生かされ、誇りとなるように、みんなでアイデアを出し合います。
- 「デジタルドリル」を活用して、子供たちの「個別最適な学び」を推進します。文書配信、調査、出欠席連絡等のデジタルシステムを活用し、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)化を進めます。
- 働き方改革を進めます。子供たちと健康な状態で関わられるように、どの教員も月平均の残業時間が30時間以内となるようにします。

5月の生活指導目標 友達となかよくなろう

新年度が始まり1か月が経ちました。クラス替えがあり、新しい友達がたくさんできたことと思います。中休みや昼休みに体を思い切り動かして遊んだり、教室でたくさん話をしたりしながら、友達との仲を一層深めていってほしいと思います。